

水産の窓

長期漁海況予報（令和6年4月～7月の予測）について

令和6年3月18日～21日に令和5年度第3回太平洋いわし類長期漁海況予報会議が開催され、予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、3月26日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。

（予報本文 URL：https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/files/20240326_iwashi_pac.pdf）

1. 海況

(1) 黒潮（潮岬以東）

- ・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。
- ・蛇行北上部は、概ね伊豆諸島海域の西側に位置する。
- ・房総沖では、接岸傾向で推移するものの、一時的に離岸することがある。

(2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・黒潮から暖水が波及しやすい。

(3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。

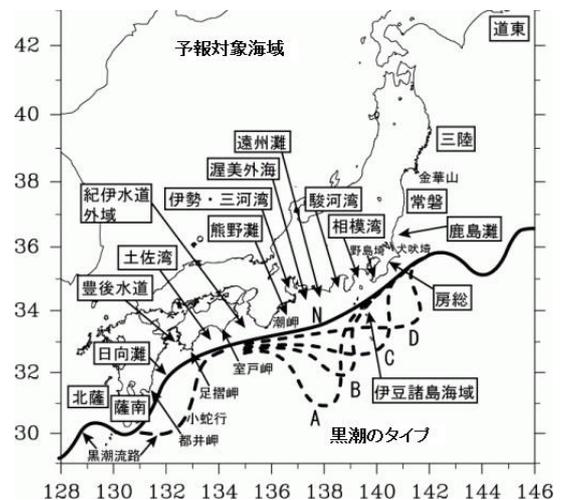


図. 予報対象海域および黒潮の流型

2. 漁況

(1) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：前年並～下回る。
- ②漁期・漁場：まき網は、犬吠埼沖～常磐南部海域で漁場が形成され、5月以降には三陸南部海域、6月中旬以降には道東海域でも形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。
- ③魚体 [被鱗体長]：10cm～16cm 前後（1歳魚、12～45g前後）、15cm～18cm 前後（2歳魚、40～70g前後）、17cm～19cm 前後（3歳魚、60～80g前後）、17cm 以上（4歳以上、60g以上）。期後半には房総海域において11cm 前後（0歳魚、20g前後）も漁獲される。

(2) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：房総海域では前年を下回る。三陸南部海域～仙台湾では前年を上回る。三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。常磐海域、道東海域では予測が困難。
- ②漁期・漁場：房総海域ではまき網により期を通じて漁獲されるが、散発的。三陸南部海域～仙台湾では定置網により期を通じて漁獲される。
- ③魚体 [被鱗体長]：6cm～13cm の1歳魚（4～20g前後）主体で、11cm 以上の2歳魚（12g以上）も漁獲される。

（回遊性資源部）